

クローズアップ



建物外観

ザ・リッツ・カールトン京都

山口 治 徳

(Harunori Yamaguchi)

フジテック株式会社 近畿統括本部 京滋支店

1. はじめに

ザ・リッツ・カールトンが日本国内4番目（大阪・東京・沖縄）に出店したのが京都です。

鴨川河畔の二条大橋のもと、祇園や四条河原町などの繁華街に近接しながら、目前に五山送り火「大文字」で有名な、比叡山に連なる東山を望むロケーションは、四季折々の風情を満喫できる最高の立地にあります。

建物は、伝統的な要素を取入れ古都を意識した造りとなっており、杉を使った組子細工を施した天井意匠などはホテルのイメージと統一され、上質で高級な古都京都の雰囲気や漂わすラグジュアリーな空間を有する最高級ホテルです。

2. 建物概要

所在地：京都市中京区二条大橋上る鉾田町543

建築主：積水ハウス株式会社

設計者：株式会社 日建設計
株式会社 イリア

施工者：株式会社 大林組

建物用途：ホテル

敷地面積：5,937.28㎡

建築面積：4,598.23㎡

延床面積：24,682.89㎡

構造：鉄筋コンクリート造
(一部鉄骨鉄筋コンクリート)

階床数：地下3階、地上4階

工期：2011年12月～2013年10月

開業日：2014年2月7日

3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター9台、小荷物専用昇降機1台の計10台が設置されています。

特にお客様用として宿泊室をサービスするエレベーター2台とレストラン、宴会場及びスパをサービスするエレベーター2台には、かご内室の意匠に趣向を凝らしており、天井は杉の組子細工、側壁は栓の柾目、床は御影石と天然素材を多用しながら、カラーステンレス鏡面仕上やLED間接照明、液晶位置表示器など現代の技術と天然素材との融合を図り、徹底して質感にこだわった仕上げとなっています。

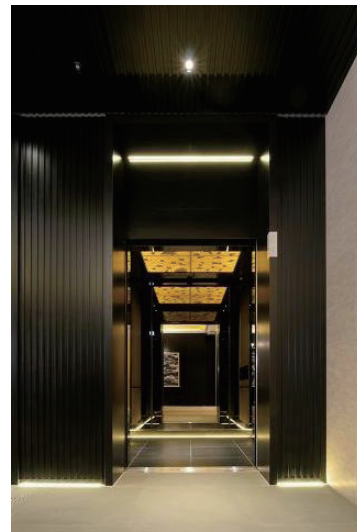
なかでも、かご天井はロビー階のエレベーターホール天井と同仕様となっており、床に設置したLED間接照明を含め、ホールとの連続性を有した一体感を作り出しています。

また宿泊室用エレベーターのかご内には液晶モニターが設置され、ホテルのイメージ映像を映し出しており、部屋のカードキーを使用するカードリーダーでのセキュリティ運転も装備しています。

クローズアップ



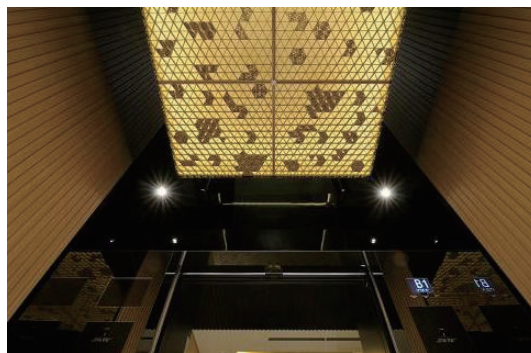
エレベーターホール①



エレベーターホール②



かご内室①



かご内室②

エレベーター仕様 (計 10 台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1～2	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1600	24	105	2	7 (B2, B1, L, 2～5)	フジテック	車いす仕様
3～4	〃	〃	〃	1600	24	60	2	3 (B2, B1, L)		車いす仕様
5	人荷共用	〃	乗合全自動方式	1350	17	90	1	7 (正面 B2, B1, L 背面 2～5)		2方向出入口
6	〃	〃	〃	1600	20	90	1	7 (B2, B1, L, 2～5)		
7	〃	〃	〃	1850	24	90	1	7 (B2, B1, L, 2～5)		
8	〃	〃	〃	2000	24	90	1	4 (正面 B2, L1 背面 B1, L)		2方向出入口
9	〃	〃	〃	1600	24	30	1	2 (正面 L 背面 L1)		2方向出入口
	小荷物専用	〃		100	—	30	1	2 (B3, B2)		